

しやつきー

■特別養護老人ホーム心和園

いつまでもお元気で～敬老記念品授与式～

■生活支援コーディネーターのウォーキングマップ

■“ただいま”地域福祉実践計画”策定中です

■対戦ゲームで盛り上がった デイサービス敬老会

■『あっけしの町をよくするしくみ』赤い羽根共同募金

■あっけしの輪～毛利哲也さん～ ほか



7月30日、北海道共同募金会天羽啓常務理事が来町し、赤い羽根共同募金の助成を受けて購入した車両の贈呈式を行いました。

大切に使用させていただきます。
ありがとうございます。





施設長より記念品を受け取り“笑顔”が見られました。

特別養護老人ホーム心和園 いつまでもお元気で～敬老記念品授与式～

9月15日、心和園において敬老記念品授与式を、昨年同様、新型コロナウイルス感染予防対策のため、家族や来賓の来園をご遠慮いただき開催しました。敬老のお祝いは1年に1度で、それを盛大に祝うことができず大変心苦しい限りですが、今は早期にコロナが収束することを心から願うばかりです。

今年の心和園入所者の敬老祝金授与者は、傘寿（満80歳）5名、米寿（満88歳）2名、白寿（満99歳）3名、仙寿（満100歳以上）2名の計12名です。対象者の方々には、施設長から厚岸町の敬老祝金を手渡しました。そのほか、入居者全員に施設長から敬老記念品を贈らせていただいています。また、夕食にはお祝いの行事

食を用意しました。今後も入居者の皆さんに、永く元気に過ごしていただけるよう、職員一同支援させていただきます。

今回は、当日の様子を写真で紹介します。





敬老記念品授与式にあたり、堀部禮子様よりお花の寄贈をいただきました。毎年の心遣い、職員一同心より感謝申し上げます。

楽しく過ごす時間を大切に ～第2フロア～



シリーズでお伝えしている、心和園各フロアの取り組み。今回は第2フロアを紹介します。

このフロアは、多床室の5部屋の入居者16名とショートステイの利用者20名が生活されています。職員は介護主任1名、リーダー1名、介護職員10名の計12名の職員が皆さんのお世話をさせていただいています。フロア内の取り組みでは、個々の趣味や楽しみをレクリエーションや余暇活動に取り入れ、皆さんが、楽しく過ごせる環境作りを心がけています。

さらに、ショートステイ棟の中の10床と食堂は、

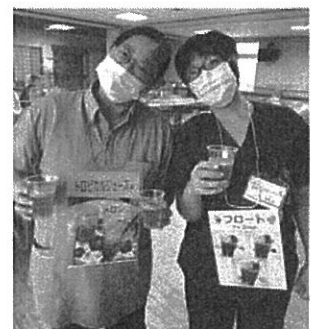
新築棟で施設内がキレイなうえ、元気で話好きな方も多いため、明るくにぎやかな雰囲気です。

現在は、感染予防のため、多床室入居者とショートステイ利用者の席を分け、距離をとるよう心がけていますが、以前は、皆さん一緒にカラオケを歌ったり、体操やゲームを一緒に楽しんでいました。また、外出制限があるため、介護予防体操や運動レクリエーションを意識的に取り入れ体力維持に繋がるよう心掛けています。毎日、にぎやかで笑顔が絶えない第2フロアです。



(左)
皆さんの笑顔からにぎやかな雰囲気が伝わってきます。

(右)
入所者皆さんの笑顔に負けず劣らずの職員が多く働いています。



生活支援コーディネーターの ウォーキングマップ Vol.20

これからの“福祉”について考える「みんなのしゃべり場」や、地域共生社会を見据えた多世代交流事業を行いましたのでお知らせします。

地域の課題や 自分たちができることはなんだろう 『みんなのしゃべり場』を開催しました

地域の声を“よりよいふくしのまちづくり”の一步にできたらと考え、井戸端会議のような気さくに話せる意見交換会を開催しました。当日は4名の方々が集まり、熱い議論を交わしました。



和やかな雰囲気です話す参加者

会議の冒頭では、人口や高齢化率など厚岸町の概要を説明したのち、元気なうちから“お互いさま”で支え合う関係を作れないだろうかと皆さんに投げかけました。

次に、厚岸町の課題や地域の困りごとなど付箋に書き出してもらい、自分達ができることや手伝えること、それらの解決の方法について話し合いました。

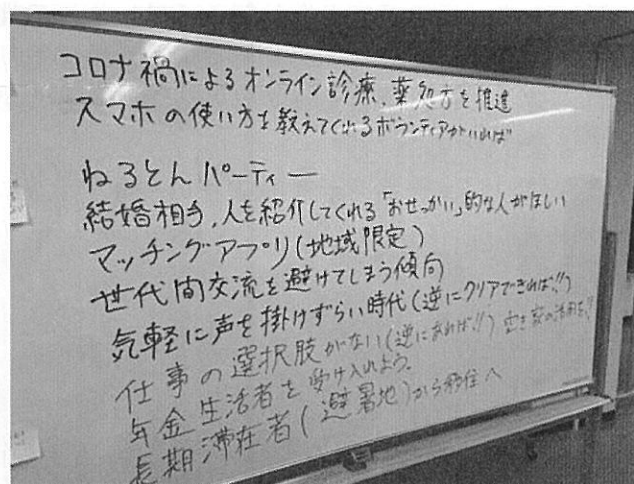
自分達が住んでいる地域を良くしようと考え出した意見は、各々が生活する拠点や視点の違い

があるからこそ見える意見が多くありました。

たくさん意見が出たところでタイムアップとなりましたが、このしゃべり場から“新たな資源”として形にできればと考え、次回も開催する運びとなりました。途中参加も大歓迎ですので参加希望の方は気軽にお問い合わせください。

【問い合わせ先】

厚岸町社会福祉協議会
☎52-7752



活発な意見交換(裏面にもびっしり)

● 9/5日曜日 トライベツで開催 こどもアグリ体験inトライベツ

『トライベツ自治会の方が育てたじゃがいもや人参と一緒に収穫してカレーを食べませんか？と町内の幼稚園や保育園にお知らせしたのが7月中旬。みんなで掘った野菜でカレーを作り、一緒に食べたかったのですが、実施予定日が緊急事態宣言中という事もあり中止を視野に入れ検討した結果、各家庭ごとに時間を区切り、密にならないようじゃがいも堀りを行うことにしました。



初めは泥汚れが気になって掘るのをためらっていた子ども達も、自分の顔位ある大きなじゃがいもが次々出始めると夢中になって掘り進めました。そんな子どもたちを、嬉しそうに見つめるご両親の笑顔もとても印象的でした。

参加者からは、「じゃがいも堀りが想像以上に楽しかった！」「次から次へと大きなじゃがいもがゴロゴロと土の中から出てくるのが宝物探しのようで、貴重な体験でした」と感想をいただきました。

これは、北海道社会福祉総合基金の助成金を利用し、トライベツ自治会との共催で企画したものです。地域交流や児童福祉の推進などにも利用できる助成金となっておりますので、来年度申請を検討される場合はご連絡ください。



■地域の困りごと相談や、新規事業の説明会実施などお気軽に連絡ください■

厚岸町社会福祉協議会 生活支援コーディネーター 柏木 ☎0153-52-7752

ただいま“地域福祉実践計画”策定中です



厚岸町社会福祉協議会が、どのような福祉のまちづくりを目指すのか、また、地域の皆さんがいつまでも住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、福祉関係団体、福祉事業者などが協働して策定する計画です。現計画は、平成29年～令和3年度の5カ年計画で今年度が計画の最終年度となっています。

来年度から、新たな地域福祉実践計画を実行していくため、社協内部組織や、福祉、障がい、ボランティア関係者などで構成する策定委員会のほか、地域の意見を伺いながら策定を進めて行きたいと考えています。

“地域福祉”とは

皆さん『福祉』という言葉で、どんな福祉をイメージしますか。

福祉でイメージするのは、地域で一人暮らしの高齢者や、所得が安定せず生活が不安定な方、または、子育てに悩んでいる方など、何かに困っている方に対する支援ではないでしょうか。

福祉とは、困っている人達だけのサービス



ではなく、みんなが安心して生活できるようにすることが目的です。

“地域福祉”とは、地域で暮らす皆さんが住み慣れた地域で安心・安全にして生活できるようによう支援することで、地域生活の環境整備のような役割もあります。

“地域座談会”を実施しました

社協では、地域が抱えている課題を地域の方々と協働し取り組むため、社協や事業を知ってもらうための説明をしたり、地域課題の聞き取りを行う「地域座談会」を行っています。

コロナ禍のため、自治会の活動や役員会を行えていない自治会が多い中、今回、若松自治会と尾幌自治会の役員会にお邪魔させていただきました。

社協活動のほか、これから取り組む新規事業について話をしたほか、地域の困りごとについて意見交換を行いました。

コロナ禍で交流が減り、独居高齢者が家に閉じこもるケース、地域の高齢者との繋がりがづくりに利用していた“かけはし”の更新がストップしたため、声掛けに苦慮しているなど、社協として何ができるか、何をしなければならないか、考えさせられました。

これらを、社協の地域活動に生かせるよう取り組んでいきたいと思っています。ご協力いただきありがとうございました。



【総務地域課 主事】



平山寿子

9月1日より総務地域課に勤務させていただいております。
生まれも育ちも白糠町なので、厚岸町での暮らしに毎日わくわくしながら過ごしています。

これまでは、高齢者福祉に関わる仕事やそうではない仕事も経験しましたが、地域福祉に関わる仕事がしたいとの思いから数年が経ち、今回それがやっと実現できたことを嬉しく思っています。

これまでの経験を活かしながら厚岸町の皆さんにとって、福祉を身近に感じて頂けるよう励んで参ります。地域の皆さんと交流できることを大変楽しみにしており、また1日も早く町に溶け込めるようにと思っています。
これからどうぞ宜しくお願い致します。



こんにちは！社協ヘルパーステーションです

第8回

ヘルパー日誌



こんにちは、社協ヘルパーステーションです。暑かった夏も終わり、朝晩はストーブをつけたい季節になりましたね。今回は、ヘルパーの一日について紹介したいと思います。

「ヘルパーの一日」

～出勤～

訪問時間に合わせて出勤します。タイムカードを打刻し、連絡ノートや利用者の状況（経過表）を確認します。

～訪問～

利用者宅へ訪問し、サービスを行います。

【次の訪問まで時間が空く時は…事務所に戻って記録したり、家に帰って家事をしたりと自由に空き時間を過ごします。】

～帰社～

一日の訪問スケジュールを終え、事務所に戻り、訪問した利用者の日誌や経過記録、ヘルパー車の運行日誌等を記入します。

次に、パソコンに移動距離、訪問件数等の入力をし、翌日の訪問スケジュールと乗車する車を責任者と確認後、タイムカードを打刻し帰宅します。



ヘルパーが作業する場所。書類を広げてゆっくり作業ができます。

令和3年 大雨災害義援金



募集期間

令和3年7月19日～12月30日

お寄せいただいた義援金は、北海道共同募金会を通じて被災者に配分されます。

ご希望の場合は領収証を発行します。

みなさんのあたたかいご支援をお待ちしています。

【連絡先】厚岸町共同募金委員会
☎52-7752

生活福祉資金特例貸付のお知らせ

北海道社会福祉協議会では、新型コロナウイルス感染症の影響で休業・失業により生活再建までの間に生活費用が必要な方に対して特例貸付を行っています。

未だ感染が収束せず、影響を受けている方を支援するため**受付期間を11月30日まで延長**することになりました。

貸付の相談及び申込方法につきましては事務局に電話するか、またはホームページをご覧ください。なお、相談の際に現在の生活状況や収支についてお聞きすることがありますので、予めご了承ください。

■問合せ先

厚岸町社会福祉協議会
総務地域課（事務局：杉本）



梅香発信

No7

『社協居宅介護支援事業所』介護や福祉の小話

【高齢者に人気のスポーツ】

賛否両論があった、2020東京オリンピックが開催され、スポーツを目にする機会が多くなりました。高齢者に限らず、身体を動かすことは、糖尿病や心臓病などの生活習慣病やがん・認知症などのリスクが下がると言われています。あなたはどんなスポーツを行っていますか。

高齢者に人気のスポーツとして挙げられるのはウォーキングです。歩くことで筋力や体力が向上し、外の空気を吸うことで気分もすっきり。また、ウォーキングは比較的軽い運動なので体に負担がかかりにくく気軽に始められます。まずは歩きやすい靴で、近所を歩いてみるのはいかがでしょうか。もう一つ人気なのが、ゴルフやゲートボールです。これは体を動かすだけでなくスコアや点数を競うのでゲーム感覚も味わえますし、友人同士で楽しめるのもいいですね。

スポーツは何より健康維持につながると考えられています。運動前後の体調管理を機にかけ、水分補給や休憩をはさみながら、自分に合った無理のない運動方法が見つかるといいですね。



対戦ゲームで盛り上がった

デイサービス 敬老会

9/13(月)～18日(土)の6日間、在宅老人デイサービスセンターにおいて敬老会を行いました。

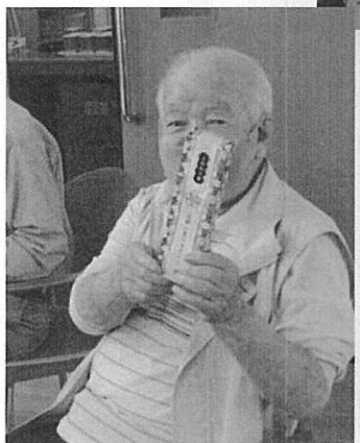
今年の敬老会は、趣向を変えチーム対抗でゲームを実施。ゲームは、サイコロゲーム、盤輪投げ、昆布巻きゲーム、傘玉入れ、トイレットペーパータワーの5種目を行い、出番を待っている間には、どちらが勝利するかを予想していただきました。予想が当たるとはちまきをかけ、最終的に誰が一番はちまきの本数が多いのかも競い



(左) よいしょ！大きなサイコロを転がすサイコロゲーム
ました。



(右) 揺れるトイレットペーパーを慎重に積み上げるトイレットタワーゲーム



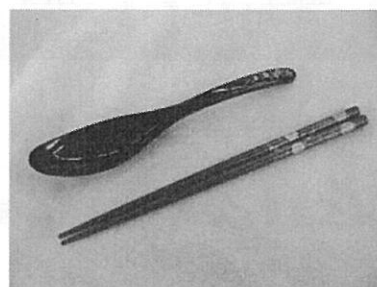
(左) 記念品を手嬉しそうな笑顔がいいですね



昆布巻きゲームの風景

ゲームの後は、皆さんへの敬老記念品として、箸とさじのセットをプレゼント。自宅で使っていただけると嬉しいです。

敬老会の期間中はハッピーメニュー週間で、いなり寿司やちらし寿司、秋の味覚の栗ご飯など、いつもと違う昼食を日替わりで提供し、皆さんから『おいしい』と好評でした。



敬老会記念品

新型コロナウイルス感染対策に配慮し行った今回の敬老会は、皆さんにとって満足のいくものではなかったかもしれませんが、しかし、敬老会では、いつも以上の笑顔が見られていました。早く大きな声を出して、皆さんと盛り上げられる日が来ることを待ち望んでいます。



昼食は日替わりのちらし寿司セット



『あっけしの町を良くするしくみ』 赤い羽根共同募金

運動期間10月1日～12月31日まで

赤い羽根共同募金は、地域の福祉団体やボランティアなどの地域福祉活動を支えるための募金活動です。来年度の使いみちを今年度に計画し（計画募金）、募金の目標額を決めています。

本運動にご理解いただき、皆さまのなお一層のご協力をお願いいたします。

今年度の目標額は 2,200,000円

▶ 共同募金の募金方法

- 戸別募金／自治会を通じて、世帯ごとに行う募金
- 法人募金／企業・団体・商店などを訪問して行う募金
- 職域募金／企業、団体単位で職員に呼びかけて行う募金
- 学校募金／福祉教育の一環として、学校を通じて行う募金
- 街頭募金／人の集まる場所、イベント会場など街頭で行う募金
- その他募金／寄付金付きピンバッジなどの募金

500円募金でプレゼント
寄付金付きバッジ



製作費を差し引いた金額が
寄付されるしくみです。



みなさんの募金のおかげです

社会福祉協議会に福祉車両購入の助成をしました



共同募金会では『施設活動支援事業』として車両購入の助成も行っています。

この車は、10名乗りで車いすが2台乗車できるリフト車です。

今後は、町内の障がい者団体や高齢者の送迎に活用されます。

みなさんから寄せられた募金が、厚岸の福祉活動を支えています。

▶ 令和3年度の募金のつかいみち

障がい者(児)支援 500,000円



- ・ こう福祉21 (こう福祉21実行委員会)
- ・ 会員交流生きがい事業 (身障者厚岸町分会)
- ・ 会員研修旅行 (コミュニケーション障害の会)
- ・ 社会研修事業 (工房るうぷ)
- ・ レスパイト事業
(障がい者・児を持つ親の会なないろ)

その他の 福祉活動支援 631,000円



- ・ 医療講演会 (難病連厚岸・浜中支部)
- ・ コミュニティカフェ・地域食堂 (社協)
- ・ ふらっとニコニコ広場 (社協)
- ・ たすけあいチーム助成 (社協)
- ・ しゅっきー発行 (社協)

高齢者支援 330,000円



- ・ 会員研修交流会 (老人クラブ連合会)
- ・ 生きがい事業 (老人クラブ連合会)
- ・ ふれあい会食会 (社協)

子育て支援 110,000円



- ・ 読み聞かせ事業 (ちいさな絵本箱)
- ・ 親子でるる (地域子ども会育成連絡協議会)
- ・ 親子の交流事業 (あそぼーの)

※コロナ禍の影響により、事業が中止になった場合は、その助成金が次年度以降に活用されます。

赤い羽根共同募金が応援した団体からお礼のメッセージが届きました



工房るうぷ 『社会研修事業』



～さくらんぼ狩りに行ってきました～

さくらんぼ狩りはとてもたのしかったです。なかでも佐藤錦はみんな、なくなるほどうれしかったです。またいきたいです。ありがとうございました。

I・O さんより

さくらんぼ狩りで自分が届かないさくらんぼを気遣って手伝ってくれた職場の男性の仲間に嬉しく感じました。さくらんぼ狩りは楽しかったです。ありがとうございました。

A・T さんより

寄付・寄贈ありがとうございます

～社協や心和園へ下記の方より寄贈がありました。皆さまの善意ありがとうございます～

【寄贈品】▼心和園 タンス・バスタオルなど/堀祐一さん、タオルなど/菅谷妙子さん
フラワーアレンジメント/堀部禮子さん

【寄付金】▼心和園 50,000円/匿名

※寄付寄贈を受ける際に、「誰のために」「どのような事業に」など、希望する使い道を確認させていただきます。

第4回

あ っ け し の 輪

【Wa-akkeshi】

こんな時代だからこそ
人と人のつながりを大切にしたい。

社協とのつながりに関係なく、町民の皆さんをリレー方式で紹介します。
今日この一歩が、未来の大きな一歩となりますように。

【あなたにとって社協とは】

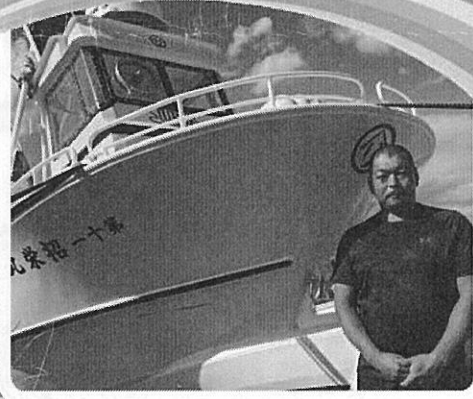
今まで関わりがなく全く分からなかったですが、祖母が福祉バスに乗って生きがい大学に行っていたのを思い出しました。

【10年後の自分へ】

家業を継ぐかどうかは分からないけど、息子(小3)と一緒に仕事をやっているかなあ。

【人生で一番感謝している人は？】

友人の父親で石村務さん。漁師になると決めたとき、「どこに行っても恥ずかしくない漁師してやる！」と一番に船に乗せてくれ、漁師のイロハを教えてくれた。でもまだまだ。何をもって完璧というかわからないので努力の日々です。



毛利哲也さん (43)

【コロナ禍で思う事】

毎年出店する中でいつも来てくれるお客さんに会えないので、牡蠣祭り、桜まつりが中止になったことが残念。

★次回は、簗島 航 さん。
毛利さんからコメントで
「工場長、頑張って！」

厚岸町社協広報『しゃっきー』
2021.10/No.183【編集】広報委員会(以下、委員)
米内山紘輝、中野絹恵、杉本裕樹、柏木由起子、
太田麻利子、伊藤由弥子、加藤嘉史、本庄祐長

社会福祉法人厚岸町社会福祉協議会
〒088-1115 厚岸郡厚岸町梅香2丁目1番地
厚岸町社会福祉センター内
TEL 0153-52-7752 FAX 0153-52-6044